

# 円山川の減災対策10年、未来へつなぐ新方針を策定!

～第12回「円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会を開催～」

○円山川では、堤防決壊等の大規模な氾濫に備え、国、県、市等による「円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設置し、協議会で策定した「円山川の減災に係る取組方針」に基づき、各機関が取組を進めており今年で10年目を迎えました。  
○今回の協議会では、各機関のこれまでの取組を総括するとともに、次期5か年の新たな取り組み方針を策定しました。  
新たな取り組み方針では、5年間で達成すべき目標に「**水害リスクの自分事化**」に関する文言を追加し、目標達成に向けた柱を「流域治水プロジェクト2.0」や「但馬（円山川）地域総合治水推進計画」を考慮した**3本柱へ再構築**しました。

## 【概要】

- 日 時: 令和8年5月26日(火) 13:00～14:30
- 場 所: 円山川防災センター
- 参加機関名: 豊岡市、兵庫県但馬県民局(総務企画室・豊岡土木事務所)、神戸地方气象台、全但バス株式会社、WILLER TRAINS株式会社、西日本旅客鉄道株式会社 兵庫支社、豊岡河川国道事務所
- 報告: 1) 円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会の報告  
2) 円山川の減災に係る取組方針に基づいた報告  
3) 住民防災意識社会調査結果
- 議 事: 円山川の減災に係る新たな取組方針について



## 各機関からの意見(抜粋)

■豊岡市長  
この円山川の減災対策は、関係機関の協力をもって河川整備、堤防整備等のハード面、防災マップ、タイムライン等のソフト面のいずれも一体的な取組実施ができており、重要な協議会であると認識しています。全国では大雨による災害が毎年発生していること、平成16年台風第23号から21年目となり災害の経験や記憶をしていない世代もあることなどから、「水害リスクの自分事化」についても取組んで参りたい。

■但馬県民局 総務企画室  
住民防災意識調査結果から、協議会の設置目的である「水防災意識社会の再構築」が着実に進んでいることがうかがえた。次期方針では「自分事化」を進めるため、住民への分かりやすい情報発信や防災教育の充実が重要と考えます。

## 新たな取り組み方針について

### 【今後5年間で達成すべき目標】

洪水が集中しやすい地形特性と平成16年10月の台風23号洪水の教訓を踏まえ、重点的に実施されてきた円山川の水防災に関する取組について、大規模な水害にも備えられるよう段階的な進展を図り、流域のあらゆる関係者の「**水害リスクの自分事化**」を進め、地域の自助・共助を一層高めることにより「水害にしたたかな地域」を創出する。



協議会の様子

### (旧)【目標達成に向けた4つの柱】

- 1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
- 2) 的確な水防活動のための取組
- 3) 粘り強い構造及び無堤区間の堤防整備の取組
- 4) 浸水の排水、施設運用等に関する取組



### (新)【目標達成に向けた3つの柱】

- 1) 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための取組
- 2) 被害対象を減少させるための取組
- 3) 被害の軽減、早期復旧・復興のための取組

協議会で使用した資料は豊岡河川国道事務所HPにて公表

👉〈円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 | <https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/kasen/gensai/index.html>〉

## 【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所 流域治水課  
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3  
TEL 0796-22-3126 (代表)

